

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道418号売木峠バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県下伊那郡売木村軒川 至：長野県下伊那郡阿南町新野		延長	4.04km		
事業概要	<p>一般国道418号は、福井県大野市から長野県下伊那郡平谷村を通して飯田市南信濃に至る幹線道路である。売木峠バイパスは、一般国道418号の幅員が狭小で線形も悪く、冬期の凍結により交通の難所として地域交通の妨げとなってきた売木峠付近の解消を目的とした延長4.0kmのバイパスである。</p>					
H 4年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 6年度用地着手	H 9年度工事着手			
全体事業費	約66億円	事業進捗率	60%	供用済延長	2.4km	
計画交通量	2,090 台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (未完成区間全体) 3.9 (残事業) 4.8	総費用 (残事業)/(未完成区間全体) 14/18億円 事業費：11/15億円 維持管理費：3/3億円	総便益 (残事業)/(未完成区間全体) 68/68億円 走行時間短縮便益：63/63億円 走行費用減少便益：4/4億円 交通事故減少便益：1/1億円	基準年 平成18年		
感度分析の結果	-					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワークの構築（医療・通学通勤などの隣接した日常生活圏の連絡が改善される） ・防災対策及び危機管理の充実（緊急輸送路ネットワークの構築） 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・阿南町及び売木村から早期の全線開通を望む要望がある。 ・国道418号整備促進期成同盟会からの要望。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度に売木トンネルが開通し、最大の難所であった峠越えが解消された。 ・平成18年度に阿南町側の全線を供用開始し、アクセスが向上した。残事業は売木村側のみである。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・未供用区間については、平成19年度より用地買収及び本工事に着手する。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートの見直し及び不要な箇所の歩道を無くすことにより、コスト縮減を図っている。 					
対応方針	-					
対応方針決定の理由	-					
事業概要図	<p>売木峠バイパス 全体 L=4.036m W=6.5(7.5) 供用済 L=2.659m</p> <p>至 飯田市街地 至 天龍村 至 愛知県</p> <p>信州新野千石平道 至 天龍村</p> <p>至 岐阜県忠 至 愛知県</p> <p>売木村 売木トンネル L=1036m 阿南町</p> <p>こまどりの湯 うるぎふるさと 売木村小学校</p> <p>凡 例 ■ 供用中 ▨ 再評価箇所 ▩ うち供用中</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。